

あまくさ



天草剣道連盟広報係 令和5年6月発行

令和5年度天草春季剣道大会

4月9日(日) 栖本体育館を会場に天草春季剣道大会が開催されました。政府から5月には「新型コロナウイルス感染症の5類感染症への変更」の方針が出されていましたが、本大会は会場内ではマスク着用の徹底や、密を避けるために各部の開催時間をずらすなど感染症拡大防止への対応をしっかりとって開催しました。

新年度最初の大会でもあり、選手達は気持ちも新たに日頃の練習で培った技を精一杯出し合い、熱のこもった試合を繰り広げました。結果は以下の通りです。

学年	優勝	優秀選手賞	2位	3位	3位
小学4年以下	上天草剣道クA	水野恵太	松正館A	牛深少年剣道クA	青志会A
小学5・6年	青志会B	福島颯希	牛深少年剣道ク	上天草剣道ク	河浦剣道クA
中学生	本渡東中A	有田怜未	本渡中A	栖本中A	牛深剣心館A



(上天草剣道クラブA)



(栖本少年剣道クラブ青志会B)



(本渡東中学校A)

令和5年度天草剣道連盟定期総会開催

5月7日(日) 天草市民センター大会議室において、会員35名の出席(委任状出席96名)を得て、令和5年度天草剣道連盟定期総会を開催しました。会の冒頭、平田光二会長からは、日頃の切磋琢磨した稽古の成果が多く七段昇段試験合格や若い世代の活躍につながっていることに喜びを感じるという感謝の気持ちを伝えられました。また、今後の子ども達への指導の方向として、楽しく稽古させるための工夫の必要性や不適切な指導の根絶を訴えられました。さらに、剣道に対する理解を深め自己を高めるためにも中央伝達講習会への参加を呼びかけられました。

総会においては、令和4年度行事結果及び収支決算報告の後、規則一部改正と新役員が提案され、会員の了承を経て新体制が決定しました。その後、令和5年度行事予定、収支予算等が無事承認され、令和5年度がスタートしました。

今後も子ども達の健全育成とともに私たち会員も切磋琢磨しながら楽しく剣道をやっていきましょうように皆様のご協力をお願いします。



審判講習会

令和5年度天草郡市中体連を一週間後に控えた6月11日(日)有明中学校体育館において、熊本県剣道連盟から平野亨教士八段を講師としてお招きし、審判講習会を開催しました。午前の講義では、「コンプライアンスの徹底～全剣連の取組み～」と題して、法令遵守(全剣連の規則・ルールを含む)の大切さと不適切な指導の根絶についてのお話がありました。その後、実際に中学生の試合を交代で審判しながら、新型コロナウイルス感染症に対する暫定的な試合審判法について、詳しく解説していただきました。特に、受講者の関心が高かった「つば(鏝)競り合い」からの「一呼吸(目安としておよそ3秒)」の考え方や意図的な「時間空費」や「防御姿勢による接近」など様々な場面での審判員の対応について説明されました。午後は、日本剣道形の講習と合同稽古がありました。

今年度は、若手の先生方の参加もたいへん多く有意義な講習会となりました

令和5年度天草郡市中体連剣道競技大会

6月18日(日)河浦中央体育館を会場に郡市中体連(剣道)が開催されました。今年度から県大会個人戦は、代表男子の部、代表女子の部のみが実施されることになり、1年生の部、2年生の部は郡市大会での実施となりました。

試合は、男子団体の部8チーム、女子団体の部3チーム、個人戦1年生の部14人、2年生の部11人、代表男子の部25人、代表女子の部25人が参加して、この日の勝利を目標に練習してきた技を出し合う力のこもった熱戦が繰り広げられました。

審判の先生方も審判講習会の内容を踏まえて、しっかり技を見極めていただきました。たいへんお疲れさまでした。

結果は以下の通りです。おめでとうございます。



	優勝	2位	3位	4位(1・2年3位)
男子団体の部	本渡中学校	本渡東中学校	稜南中学校	河浦中学校
女子団体の部	栖本中学校	本渡中学校	本渡東中学校	
1年生の部	山中朝陽 (姫戸中)	野嶋隆也 (稜南中)	柿原匠湊 (栖本中)	岩崎 光 (有明中)
2年生の部	野崎暖史 (本渡中)	山崎家治 (苓北中)	檜木昌平 (本渡中)	橋本一輝 (河浦中)
代表男子の部	松原光雅 (稜南中)	田中大揮 (栖本中)	有田怜未 (本渡東中)	大塚直莉 (本渡東中)
代表女子の部	福島 凜 (栖本中)	城下凜音 (牛深中)	唐津日歌 (本渡中)	田中結菜 (稜南中)

本大会の団体戦の男子優勝チーム・女子優勝チーム及び個人戦の代表(男女)部門4名は、県大会に出場します。次は、県大会という一つ上のステージで天草郡市の代表として力を発揮してください。応援しています。

(祝) 七段昇段おめでとうございます！

河浦支部 唐田嗣久会員の昇段コメント

「あきらめず、コツコツ」と挑戦を！

令和5年2月4日、福岡七段審査会で合格させて頂きました。河浦支部の唐田嗣久です。七段審査に向けての稽古は、河浦町の新合剣道クラブでは、水曜日と日曜日の夕方に、切り返し10本、面・小手面などの基本打ちと面小手合戦などの基本を中心とした稽古がベースでした。また、市役所剣道クラブは木曜の夕方に、基本稽古と1分30秒の審査を意識した試合稽古を仲間がビデオ撮影し、悪い点の指摘をして頂きました。他にも西山会や牛深朝稽古会にも行くなど、「あきらめず、コツコツ」と挑戦をしてみられました。昇段審査は、「相手次第」と言われます。

「休まず挑戦」の精神と、「先の先」「先々先の先」の教えを心にあせらずじっくり攻めて相手の心を察知し、打突の一瞬の機会を逃さずしっかり打つ事を心がけました。審査会については名古屋や福岡などで挑戦し、今回何とか合格できました。これもひとえに河浦支部の皆さん、本渡支部、市役所稽古会などの先生方のご指導のお陰です。心から感謝申し上げます。

また、令和4年度に河浦地区より七段昇段者が4人も出ましたが、改めて切り返しなどの基本稽古をしっかり行う事が昇段への早道だと感じています。

今後は先輩方のご指導の下コツコツと練習に励み、段に恥じぬよう更に精進して行きたいと思えます。そして河浦地域の剣道愛好者の融和を図るとともに、地域の子供達には剣道指導のお手伝いを通して、剣道の楽しみを伝え、生涯剣道を目指す若者が増える事を目指していきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。



河浦支部 田上英一会員の昇段コメント

令和5年2月4日、福岡七段審査会で合格させて頂きました。河浦支部の田上英一です。ひとえに河浦支部の先生方、本渡支部の先生方のご指導のおかげと深く感謝しています。

今回の審査に対して

- ①高段者としての所作（姿勢）
- ②攻めの理合（呼吸）
- ③捨て身で打ち切る（集中力と気合）（残心）

この3点を特に取り組みました。

今後は健康に留意し、楽しく生涯修行をモットーに、「打って反省、打たれて感謝」の気持ちを忘れず、子供達の指導にも頑張っ
て行きたいと思えます。これからも先生方のご指導よろしく願い
いたします。

